

## ■米国：EIA、2020年エネルギー年次見通し AEO2020 を発表

米国エネルギー情報局(EIA)は2020年1月29日、2019年エネルギー年次見通し AEO2020 (ANNUAL ENERGY OUTLOOK 2020) を公表した。これは、現在の政策をベースとして経済モデルを用いた政策中立的な分析を行い、2050年までの米国の長期エネルギー動向に関する予測を提供するものである。電力部門では、総発電電力量に占める電源別の割合で37%と現在最大の天然ガスが、2050年には36%とわずかに低下する一方で、再エネは19%から38%と2倍に拡大し、電源別で最も高い割合を獲得するとの見方を示した。また、原子力と石炭火力については2020年代中頃まで減衰するものの、それ以降は経済性のあるユニットが残存する結果として、原子力は12%、石炭は13%を確保すると予測している。